

第53回研究会

日時：令和3年5月11日（火）14時30分～18時30分

会場：ホテルグランテラス富山4F「瑞雲の間」（富山市桜橋通り2-28）

会場とZOOMによるオンライン同時開催

テーマ：『がん間質ネットワークの理解による疾患制御』

コーディネーター 早川 芳弘 富山大学学術研究部薬学・和漢系（研究所） 教授

《趣旨》

がん成立過程における様々な間質細胞とがん細胞の細胞間ネットワークは、原発巣や転移先臓器で生存・増殖する環境を形成し、疾病としての「がん」の成立に必須であり、これらに関わる分子を標的とした腫瘍血管新生阻害やがん免疫療法など新たな治療の重要性も増している。

第53回研究会では、このようながん間質ネットワークについて最先端の研究を進めている若手研究者を講師として招き、がん細胞の運命制御に関わる間質細胞における様々な分子機構の研究やその解析に関わるモデルならびに方法論について議論する。

また特別講演としてMEK阻害剤の開発に携わられた、がん創薬研究のトップランナーの京都府立医大 酒井先生を講師としてお招きする。

【特別講演】

講演者：酒井 敏行 特任教授 (14:40 ~ 15:40)

京都府立医科大学創薬センター長、大学院医学研究科創薬医学

『ファースト/ベスト・イン・クラスのMEK阻害剤トラメチニブの発見』

座長：酒井 秀紀（富山大学学術研究部薬学・和漢系（薬学） 教授）

【一般講演】

1) 講演者：早川 芳弘 教授 富山大学学術研究部薬学・和漢系（研究所）

『がん間質における免疫細胞の役割』 (15:40 ~ 16:10)

座長：岸 裕幸（富山大学学術研究部医学系 教授）

休憩 (16:10 ~ 16:25)

- 2) 講演者：昆 俊亮 講師 東京理科大学生命医科学研究所 発生及び老化研究部門
『がん細胞が誕生したときの生体内反応』 (16:25 ~ 16:55)
座長：櫻井 宏明 (富山大学学術研究部薬学・和漢系(薬学) 教授)
- 3) 講演者：榎本 篤 教授 名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学
『がん間質の線維芽細胞の本態理解と治療への応用』 (16:55 ~ 17:25)
座長：笹原 正清 (富山大学学術研究部医学系 教授)
- 4) 講演者：平田 英周 准教授 金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍細胞生物学研究分野
『脳微小環境による脳転移がん細胞の運命決定機構』 (17:25 ~ 17:55)
座長：中川 崇 (富山大学学術研究部医学系 教授)
- 5) 講演者：七野 成之 助教 東京理科大学生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門
『新規1細胞トランスクリプトーム法 TAS-Seq 法による線維化肺の
細胞ネットワーク解析』 (17:55 ~ 18:25)
座長：早川 芳弘 (富山大学学術研究部薬学・和漢系(研究所) 教授)

【富山県からのお知らせ】 次回の研究会へ繰り越し

【交流会】 中止